

事業番号	09 02 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農産物のブランド化と販路拡大推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室	
		実施期間	H25 ～	E-mail	marketing @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・コロナ禍においても令和4年産の県産農産物輸出額は20.1億円と順調に伸びていることから、この商流を切らすことなく経済成長を続ける海外市場で稼ぐ更なる取組が必要。
- ・高品質で安全な農産物が求められていることから、輸出先国のニーズや検疫条件等に対応できる産地形成が必要。
- ・少子高齢化等により国内消費が落ち込むとともに、コロナ禍で消費行動も大きく変化していることから、信州ならではの食の魅力や価値を「おいしい信州フード」として県内外へ発信する取組の充実・強化が必要。

2 事業目的

- ・海外ニーズに対応した輸出处農産物の生産が行われ、県産農産物の輸出が重要な販売チャネルの1つになるようにする。
- ・県産農産物の価値や魅力が県内外で広く認知され、県産農産物の更なるブランド化や販路拡大が図られるようにする。

3 事業目的を達成するための取組

①輸出向け産地づくりの推進

- ・輸出産地の形成・拡大を進めるため、生産者等が行う輸出先国の調査やプロモーション等に係る経費を支援。
- ・輸出先国の規制に対応するため、必要な施設整備（HACCP等）に係る経費を支援。

②県産農産物の海外への販路拡大

- ・本県の強みを活かした輸出拡大を戦略的に進めるため、「ぶどう（クイーンルージュ®等）」、「コメ」、「花き」を重点品目として位置付け販売促進活動を展開。
- ・輸出に意欲的な生産者や事業者の取組を支援するため、県農産物等輸出事業者協議会を中心に販売促進活動等を展開。
- ・人口減少等を要因として主食用米の国内消費が減退する中でも、県産米の生産を維持するため、販促資材の作成など、輸出事業者との連携を強化し海外販路を開拓。

③「おいしい信州フード」の魅力発信

- ・県産農畜産物を県内外に広くPRするため、のぼり旗など啓発資材の作成・配布やホームページの整備により情報発信を強化。
- ・「信州プレミアム牛肉」の認知度向上や消費拡大のため、販促資材を作成し、消費の多い関西地域での販売促進フェア等を実施。
- ・県の主要品目である県産果物等の周知・販路拡大のため、生産者団体等との連携による卸売業者や実需者へのトップセールスを実施。

4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
① ②	県産ぶどうの輸出額	億円	10.1	10.1	→	12.8	↑	12.8	達成	継続的・安定的な輸出拡大を目指す輸出事業計画に基づき、主要な輸出品目であるぶどうの輸出額を設定。五か年計画の初年度であるR5年度は12.8億円を目標とする。	
③	おいしい信州フードSHOP登録店舗数	店	—	1,349	—	1,375	↑	1,380	未達成	県産農産物の魅力発信の啓発効果を検証できる指標として設定。前年度見込に対して新たに20店舗程度の増加を目指し、R5年度は1,380店を目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	★県産農畜産物の輸出額	億円	2021 (R3)	17.7	2022 (R4)	20.1	2023 (R5)	24.8	2027 (R9)	28
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	果実産出額	億円	2021 (R3)	870	2022 (R4)	904	2023 (R5)	935 (県推計)	2027 (R9)	945

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	98,264	△ 60,291	37,973	22,481	36,668	5.0
R4年度	13,208	79,715	△ 60,849	32,074	9,573	30,596	5.0
R3年度	0	116,341	△ 31,930	84,411	9,247	62,922	5.0

事業番号	09 02 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	農産物のブランド化と販路拡大推進事業		部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室

7 主な取組実績と成果

①輸出向け産地づくりの推進

・輸出先国のマーケット調査等ニーズに対応した輸出向け産地づくりの取組を支援（3事業者）。
 ・タイ向け青果物の輸入規制に対応するため、選果こん包施設の衛生証明取得（9施設）及び残留農薬分析実施（9検体）の取組を支援。

②県産農産物の海外への販路拡大

・本件の強みを活かした輸出拡大を戦略的に進めるため、重点品目に「ぶどう（クイーンルージュ®等）」、「コメ」、「花き」を位置付け、「海外で稼ぐNAGANO農産物輸出拡大事業」を展開。

・ぶどう・コメについては、台湾の現地百貨店等で販売促進活動や実需者・消費者等への認知度調査、SNS等を活用した魅力発信の取組を実施。

イベント期間中、ぶどうの輸出累計430kg、コメの輸出累計30トン達成し、輸出額の増加に大きく貢献。花きについては、国際園芸博覧会の出展を通してバイヤー等へのPR活動を実施し、R6.3月よりカタールへの輸出が開始された。

【ぶどう】R5.9月：現地百貨店で「台湾におけるクイーンルージュ®のデビューイベント」として副知事トップセールスを実施



《副知事トップセールスの様子》

【コメ】R5.9月：バイヤーを産地へ招へい

R5.11月～12月：現地小売店で試食販売等を実施

R6.1月～2月：現地百貨店にブースを設置しPR※期間中1日は生産者が現地に渡航

【花き】R6.2月：「2023年ドーハ国際園芸博覧会」へ出展し、バイヤー等へのPR活動を実施

・長野県農産物等輸出事業者協議会による現地での長野フェア開催（9回）、海外バイヤー招へい活動の実施（2回）、海外市場調査の実施（2回）を通して県内生産者等の海外販路拡大活動を支援。



《現地百貨店における県産米フェアの様子》

・令和4年度に香港等で実施した県産米輸出拡大事業のフォローアップとして、コメのノベルティグッズを作成し、輸出事業者が実施する現地フェア等の活動を支援（作成内容：2kg米袋が入るエコバッグ、2,500個）。

③「おいしい信州ふーど」の魅力発信

・旬のトピックや地域のイベント情報を「おいしい信州ふーど」ネットを活用し情報発信（24回）

・県内外の事業者へ「おいしい信州ふーど」のロゴやPR写真を提供し、民間企業等の活用によりPRを促進（ロゴ・デザイン13件、写真86件、新聞掲載10回）。

・県産食材をまとめた冊子「おいしい信州ふーど魅力発見ガイド」を、部局を超えて活用し、県産農産物のPRを実施（県主催の会議、研修会、おいしい信州ふーど発掘商談会等）。

・「信州プレミアム牛肉」の認知度向上や消費拡大のため、販促資材の作成や県内及び関西地域でのフェアを開催（3回）。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①・②	県産ぶどうの輸出額	R4年度推移	→	R5年度推移	↗	達成状況	達成
重点品目及び輸出地域に焦点を当てた、バイヤー産地招へい、トップセールスなどを含む戦略的かつ集中的なプロモーション活動及びSNS等を活用した情報発信による認知度向上の取組、さらに長野県農産物等輸出事業者協議会が主催する長野フェアが有効に機能し、贈答品として的高级ぶどうの需要が増加したことで、目標の12.8億円を達成した。							
指標③	おいしい信州ふーどSHOP登録店舗数	R4年度推移	—	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
ホームページや新聞への掲載による情報発信の強化により、おいしい信州ふーどSHOP登録店舗数は着実に増加したところ。一方、新規登録の呼びかけを行った店舗の中には、価格高騰の影響から安価な輸入・県外食材の利用が中心となっていることを理由に登録に至らなかったケースがあり、目標は達成できなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・令和5年度の県産農畜産物の輸出額は、戦略的かつ集中的なプロモーション活動及び長野県農産物等輸出事業者協議会と連携した長野フェア等が有効に機能し、高級果実を中心に輸出額を伸ばしており、令和7年度の目標金額28億円達成に向けた着実な成果を残している。本県の高品質なぶどう、コメ等は、台湾等海外の高所得者層から高く評価されており、今後もこの商流を維持・拡大していくことが必要。

・価格高騰に伴う買い控えや安価な食材を求める傾向が見られるところであるが、消費者に県産農畜水産物を選んで購入していただくため、県産農畜水産物のおいしさや価値などの魅力が広く認知される必要がある。

(2) 事業改善の方策

・令和6年度以降も引き続き、県産農畜水産物の輸出拡大を図り、本県の強みを生かした戦略的な輸出拡大を進めるため、「ぶどう（クイーンルージュ®等）」、「コメ」、「花き」を重点品目と定め、ターゲット国を明確にした集中的な販売促進活動や情報発信活動を展開する。併せて、規制の厳しいタイなどネクスト輸出先国に関する市場調査も視野に入れるほか、輸出米の産地化等を通じ、海外ニーズに対する供給力の強化を図る。

・令和6年度は、ホームページや新聞への掲載により、より多くの魅力発信を行い、県産農産物を県内外へ広くPRする。

事業番号	09 02 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	農産物のブランド化と販路拡大推進事業		部局	農政部	課・室 農産物マーケティング室

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
1	輸出向け産地づくり推進事業	53,595 千円	6,388 千円	7,907 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	GFPグローバル産地づくり推進事業	補助金	生産者等が行う輸出先国の調査やプロモーション等に係る経費を支援（国庫補助） （GFP：Global Farmer / Fisherman / Forestry / Food Manufacturer Projectの略） 補助件数：3件、補助総額7,907千円	
2	輸出向けHACCP等対応施設整備事業	補助金	輸出先国の規制に対応した製造設備の導入支援（国庫補助）：事業者から事業申請の取り下げがあったため令和5年度補助実績は0件 （HACCP：Hazard Analysis and Critical Control Pointの略、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法） 補助件数：0件、補助総額0千円	

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
2	「NAGANOの食」輸出拡大事業	7,848 千円	22,163 千円	27,325 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県農産物等輸出事業者協議会への負担金	負担金	輸出に意欲的な生産者と事業者等で構成する長野県農産物等輸出事業者協議会の活動を支援 海外バイヤー招へい：2件、長野フェアの開催：9回、市場調査の実施：2回、輸出支援員の設置数：3名	
2	県産農産物海外販売力強化事業	直接	コメの販促資材を作成し、輸出事業者が実施する県産米フェアでの配布を実施 販促資材の作成：エコバッグ（2,500個）、配布国：香港、台湾、シンガポール	
3	海外で稼ぐNAGANO農産物輸出拡大事業	委託	「ぶどう（クイーンルージュ®等）」「コメ」「花き」を重点品目として、台湾等において、SNS等による情報発信や現地百貨店・飲食店での販売促進活動を展開 フェア実施店舗数：ぶどう（4店舗）・コメ（2店舗）、国際園芸博覧会への出展：花き（1回）	

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
3	「おいしい信州ふーど」の魅力発信事業	1,420 千円	1,986 千円	1,187 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	「おいしい信州ふーど」の魅力発信事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> のぼり旗など啓発資材の作成や専用ホームページによる情報発信 「信州プレミアム牛肉」の販促資材を作成し、県内及び関西地域での販促フェア等を実施 生産者団体等と連携した卸売業者や実需者へのトップセールスを実施 情報発信回数：24回、フェア実施回数：3回、トップセールス：1回	

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
4	卸売市場流通対策事業	59 千円	59 千円	249 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	卸売市場流通対策事業	直接	卸売市場法に基づく地方卸売市場の認定及び指導監督 地方卸売市場認定数：14市場	